

校長室だより 第2号

校長 瀧 俊彰

新学年となり1か月が経ちました。

4月10日の始業式から約1か月が経ちました。新しい学年、新しいクラス、また1年生にとっては初めての中学校生活に慣れたでしょうか。毎朝、校門で元気な挨拶の音が聞こえるのはたいへんうれしいものです。各学年とも順調なスタートが切れたと感じています。この間に身体測定や各種健診もほぼ終わり、5月のGWも事故もなく過ごすことができました。

さて、5月8日にはコロナ感染症が第5類に分類されました。「濃厚接触者」の考えが排除され、インフルエンザと同様に感染者だけが出席停止となります。社会もコロナ感染症が広がる前の状況になり「平常」が戻ってきつつあります。制約のない中での生活となりますが、感染防止対策が必要なくなったわけではありません。マスクについても各自の判断で必要な時には付けることが望ましい状況です。



本校において、1年生は5月18、19日に岬町の海洋センターで宿泊実習を実施します。1年生にとっては初めての大きな行事となりますが着々と準備が進んでいるようです。集団行動のルールを守り、自主的な活動を心がけましょう。そして、クラスの仲間の良いところをいっぱい見つけて楽しい思い出を作ってください。



5月25日～27日に3年生の沖縄への修学旅行を予定通り実施します。2年生の三学期から平和について考えることや沖縄についての調べ学習をすすめていました。実際に沖縄に行き、戦争の悲惨さと平和の尊さ、さらに沖縄の文化を肌で感じてもらいと思います。そして素晴らしい思い出を全員で共有してください。また、携帯電話を持っていく方向で進めています。自分たちでルールを作り、自分たちで守ってこそ楽しい旅になることでしょう。新しい光陽中学校のスタイルを確立してください。



コロナ以前は2年生では学年の最大の行事として「職場体験学習」を実施していました。地域の事業所や保育園・幼稚園・小学校などでお世話になり仕事の体験をさせていただきました。職業観、勤労観を初めて体験する貴重な機会でしたが、今年度はコロナ感染症の影響で事業所の受け入れていただく態勢が十分に確保することができないため、残念ながら今年も実施を見合わせます。その代わりに6月にキッザニア甲子園で仕事体験の学習を行います。将来の自分の進路を考える良い機会となるようにしてください。

GWが終わった後の一週間は一学期の中のヤマ場の一つでもあります。気を緩めることなく学習活動と共にこれからの行事に取り組み、大きな成果と良い思い出となることを期待します。

令和5年5月10日 岸和田市立光陽中学校